

※解答・解説は右のQRコードから読み取ることができます。



第1回テスト

- (1) ユーラシア大陸 (2) オセアニア州 (3) ヒマラヤ山脈 (4) ナイル川
 (5) アマゾン川 (6) ①：インド洋 ②：太平洋 ③：大西洋

- ※ (1) 他の五大陸は、アフリカ大陸・北アメリカ大陸・南アメリカ大陸・オーストラリア大陸・南極大陸。
 (2) 他の五つの州は、アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州。
 (6) 3つの海洋の面積は大きいほうから、太平洋、大西洋、インド洋。

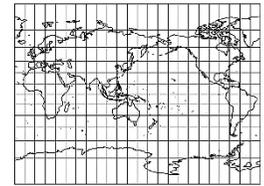
第2回テスト

- (1) ウ (2) 内陸国 (3) 白夜 (4) ウ (5) 本初子午線
 (6) ①：× ②：○ ③：○

- ※ (5) 世界の国々がそれぞれの時刻の基準にしている経線を標準時子午線という。(日本は東経135度)

- (6) ① 中心からの距離と方位を正しく表した地図は航空図に利用される。

航海図は、右図のような緯線と経線が直角に交わった地図を利用する。



第3回テスト

- (1) ウ (2) ①：B→A→C ②：ア ③：ケープタウン

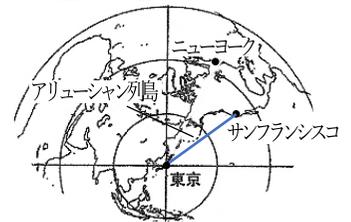
- ※ (1) 最大の大陸であるユーラシア大陸があるウの陸地面積が最も大きくなる。

- (2) ① 地図ⅠではA～Cの長さは等しく表示されているが、赤道から離れるほど、地図は引きのばされているため、実際の距離は短くなる。赤道はBを通っている線。

- ② 地図Ⅱで東京(中心)からサンフランシスコへ結んだ直線が最短コースになる。右図の通り、その直線はアリューシャン列島の近くを通っているため、最短コースは、東京→アリューシャン列島付近→サンフランシスコ

- ③ 地図Ⅱは正距方位図法なので、地図に書かれている円は東京からどれくらい離れているかの距離である。よって、東京から約15000km離れているケープタウンが一番東京から遠い。

正距方位図法の一部



第4回テスト

- (1) 1月10日午前2時 (2) 11月1日午後8時 (3) 3月20日午後8時 (4) 13時間

- ※ (1) 経度15度で1時間の時差なので、 $(135-0) \div 15 = 9$ ロンドンは日本より9時間遅れている。

- (2) ニューヨークは西経なので、 $(135+75) \div 15 = 14$ ニューヨークは日本より14時間遅れている。

- (3) 日本とカイロの時差は、 $(135-30) \div 15 = 7$ (時間) なので、日本時間3月20日午後8時のとき、カイロの現地時間は3月20日午後1時。飛行機で7時間移動しているため、到着時間は3月20日午後8時。

- (4) (2) より、日本とニューヨークの時差は14時間。よって、日本時間12月2日午後3時のとき、ニューヨークの現地時間は12月2日午前1時である。その時刻から飛行機に乗り、12月2日午後2時に到着しているため、飛行機には13時間乗っていたことになる。

第5回テスト

①：シンガポール ②：カイロ ③：モスクワ ④：ケープタウン ⑤：パリ ⑥：ラパス

※①は年中気温が高く、降水量も多いので、熱帯のシンガポール。(熱帯雨林気候)

②は極端に降水量が少ないので、乾燥帯のカイロ。(砂漠気候)

③は他の雨温図に比べて最低気温が一番低いので、冬の寒さが厳しい冷帯(亜寒帯)のモスクワ。

④は7月頃に最も気温が低いので南半球にあり、夏に乾燥し、冬に雨が多くなる地中海性気候のケープタウン。

南半球の夏は12~2月ごろ、冬は6~8月ごろ。

⑤は一年中雨が少なく、夏は暑すぎず、冬も寒すぎない気候なので西岸海洋性気候のパリ。

⑥は高山気候のラパス。アンデス山脈高地にあるラパスは赤道に近くても一年中気温が低い。

第6回テスト

(1) ウ (2) ア (3) 暖房の熱によって永久凍土がとけて建物が傾くのを防ぐため。

(4) ①：キリスト教 ②：ヒンドゥー教 ③：イスラム教

※(1) 熱帯付近は気温が高く、毎日のようにスコール(一時的な強い雨)が降るので、このような工夫をしている。

(2) 夏の強い日差しが家の中に入ることを防ぐために住居の窓は小さくしていることも特徴の一つ。

イは乾燥帯などでよくみられる。ウはモンゴルでよくみられる。

(4) ② ヒンドゥー教の信者は牛肉を食べない。③ イスラム教の信者は豚肉を食べることを禁じられている。

第7回テスト

(1) 一人っ子政策 (2) 経済特区 (3) 向き：B 名称：季節風(モンスーン)

(4) 東アジア (5) ①：畑作 ②：稲作 (6) 二期作 (7) ASEAN(東南アジア諸国連合)

※(1) 少子高齢化が急速に進んだため、2016年に廃止された。

(2) 外国企業が多く進出し、中国の工業生産が増加し、世界の工場とよばれるようになった。この地区に多くの外国企業が流入してきたのは、安くて豊富な労働力が手に入り、税金などが優遇されるからである。

(3) 季節風は半年ごとに風向きが逆になり、夏は海から湿った風が陸へ吹き、大量の雨を降らせる。

冬は陸から海の方へ乾燥した風が吹くため、雨量が少ない。

(4) アジア州は、東アジア、南アジア、東南アジア、西アジア、中央アジアに区分される。

(5) 米や小麦は中国とインドが生産量1,2位である。

(6) 東南アジアは季節風の影響で降水量が多いので、米の二期作が行われる地域がある。

第8回テスト

(1) 情報通信技術(ICT)産業 (2) 綿花 (3) インド：ヒンドゥー教, カンボジア：仏教

フィリピン：キリスト教 (4) プランテーション (5) サウジアラビア (6) OPEC

※(3) タイなどの東南アジアや中国は仏教, 西アジアやインドネシア, マレーシアはイスラム教が主に信仰されている。

第9回テスト

(1) サハラ砂漠 (2) ア：サヘル イ：焼畑農業 (3) レアメタル

(4) 赤道：エ 本初子午線：B (5) モノカルチャー経済 (6) ア

※(5) ナイジェリアは原油, ボツワナはダイヤモンドの輸出にたよっている。

第 10 回テスト

- (1) 遊牧 (2) ヨーロッパ諸国の植民地時代, 経線・緯線を利用して国境線が引かれたため。
 (3) イ (4) ア: イスラム イ: キリスト (5) フェアトレード (6) ODA

※ (2) ヨーロッパ諸国が民族性や文化を無視して境界線を引いたため, アフリカでは民族紛争が多く起きている。

(3) アはエジプト, イはナイジェリア, ウはコンゴ民主共和国, エは南アフリカ共和国。

(5) より適正な価格で取り引きをすることで, 工業化の進んでいない国々の生産者の生活と自立を支えるしくみ。

第 11 回テスト

- (1) アルプス山脈 (2) 国際河川 (3) X: 北大西洋海流 Y: 偏西風 (4) 米
 (5) フィヨルド (6) ヨーロッパ連合(EU) (7) ユーロ (8) 東ヨーロッパ

※ (3) イタリアの南部を通る北緯 40 度線は, 日本の秋田県あたりを通るが, 暖流の北大西洋海流と偏西風の影響で,
 西ヨーロッパの国々は日本より高緯度にもかかわらず温暖である。

(4) 夏は乾燥つよいオリーブ, ぶどう, オレンジなどを, 温暖で雨が多い冬は小麦を栽培する。(地中海式農業)
 デンマークやオランダでは, 乳牛を飼いチーズなどの乳製品をつくる酪農が盛ん。

アルプス山脈より北では, 穀物や家畜のえさの栽培と家畜の飼育を組み合わせた農業が盛ん。(混合農業)

(6) EU 内では, パスポートなしに自由に国境を通過でき, 関税もかからない。

第 12 回テスト

- (1) 航空機 (2) C (3) A (4) キリスト教 (5) ゲルマン (6) B (7) タイガ

※ (1) 現在, ヨーロッパでは医薬品や航空機などを製造する先端技術(ハイテク)産業が成長している。

(2), (3) A はフランス, B はイタリア, C はドイツ, D はチェコ。

(6) GDP は, 1 年間に国内でモノやサービスがどれだけ多く生み出されたかを示している。A は日本, C はアメリカ EU としてまとまることで, 政治・経済面でアメリカなどの大国に対抗しようとした。

第 13 回テスト

- (1) A: ロッキー山脈 B: アパラチア山脈 (2) ミシシッピ川 (3) グレートプレーンズ
 (4) 五大湖 (5) 適地適作 (6) ①: サンベルト ②: シリコンバレー (7) メキシコ

※ (3) アメリカは西部から, ロッキー山脈→グレートプレーンズ→プレーリー→中央平原→アパラチア山脈がある。

(7) 米国・メキシコ・カナダ協定(USMCA)

第 14 回テスト

- (1) A: 小麦 B: 大豆 C: 綿花 (2) エ (3) 企業的な農業
 (4) ヒスパニック

※ (1) 小麦はグレートプレーンズの大規模な*かんがい農業によって生産されている。

また, B の地域ではとうもろこしの生産も盛んで, 生産量・輸出量ともに多い。

(2) 西経 100 度より東側→降水量が多く, とうもろこしや大豆を栽培。

西経 100 度より西側→降水量が少なく, 肉牛の放牧が盛ん。降水量の少ないグレートプレーンズ周辺では,
 センターピットとよばれるスプリンクラーから円形に水がまかれる大規模な農業が行われている。

*かんがい農業とは...
 農作物を育てるために
 田や畑に河川や地下水
 などから水を引いて育
 てる農業。

第15回テスト

- (1) アンデス山脈 (2) ア (3) ポルトガル語 (4) ア (5) B:セルバ C:パンパ
 (6) 森林を焼きはらい, その灰を肥料にして行う農業。 (7) バイオエタノール(バイオ燃料)
 (8) コーヒー豆

- ※ (2) アルパカの毛をポンチョなどの材料にしている。また, 荷物の運搬用にリヤマの放牧も盛んである。
 (5) B: この地域の伝統的な農業は焼畑農業で, バナナ, いも, とうもろこし, 豆などを栽培している。
 (7) バイオ燃料は, 地球温暖化対策の新しい燃料として注目されている植物原料からつくるアルコール燃料。
 再生可能エネルギーとして注目されているが, さとうきび畑を作るために森林が伐採され, 問題になっている。

第16回テスト

- (1) イギリス (2) 羊 (3) ■:エ ▲:イ (4) ①:アボリジニ ②:マオリ
 (5) 中国 (6) APEC (アジア太平洋経済協力) (7) 白豪主義 (8) 多文化社会

- ※ (1) オーストラリアは, 独立した現在もイギリスとの結びつきが強く, 公用語は英語である。

(3) 右図のように, 地面を直接削って鉄鉱石などを採掘する方法を露天掘りという。

(5) オーストラリアの貿易相手国は中国や日本などのアジアの国々が上位を占める。

1960年頃は羊毛が輸出品の中心であったが, 現在は鉄鉱石や石炭, 液化天然ガスなどの鉱産資源が中心である。



第17回テスト

- (1) ①:田 ②:果樹園 ③:茶畑 ④:警察署 ⑤:工場 ⑥:消防署
 (2) ①:北東 ②:1000m ③:A (3) ハザードマップ(防災マップ)

- ※ (1) そのほかの主な地図記号

◎	市役所 (東京都の区役所)	⊗	高等学校	⊕	病院	∨ ∨	畑
○	町・村役場	㍻	神社	⚡	発電所	○ ○	広葉樹林
㍻	小・中学校	〒	郵便局	⌒	城跡	△ △	針葉樹林

(2) ② $25000 \times 4 = 100000(\text{cm}) = 1000(\text{m})$

③ 50mの計曲線から, X付近は標高約90m, Y付近は標高約60mであることがわかる。

第18回テスト

- (1) 信濃川 (2) 利根川 (3) 長さが短く, 流れが急である。 (4) 琵琶湖
 (5) フォッサマグナ (6) ①:北方領土 ②:竹島 ③:尖閣諸島

- ※ (3) 世界の河川と比べると, 日本の河川は山から海までの距離が短いので, 長さが短く流れが急である。
 また, 川の水量の変化が大きいのので, 大雨による洪水が起きやすい。

第19回テスト

- (1) 扇状地 (2) ウ (3) A:オホーツク海 B:太平洋 C:東シナ海 D:日本海
 (4) 大陸棚 (5) 海溝

- ※ (2) 水が得やすいという理由で主に水田に利用されてきたのは, 川の河口部などにできる三角州。

第 20 回テスト

(1) A：日本海流（黒潮） B：千島海流（親潮） (2) ア：12 イ：200

(3) ア：明石^{あかし} イ：135 (4) 北：択捉島^{えとろふとう} 東：南鳥島^{みなみとりしま} 西：与那国島^{よなぐにじま} 南：沖ノ鳥島^{おきのとりしま} (5) 47

※ (2) 排他的経済水域は、水産資源や鉱産資源を沿岸の国が独占的に調査したり、開発したりできる水域。

領土と領海の上空が領空。 日本の国土（領土）面積は約 38 万km²。

(5) 1 都（東京都）, 1 道（北海道）, 2 府（大阪府, 京都府）, 43 県

第 21 回テスト

①：金沢^{かなざわ} ②：東京 ③：札幌^{さっぽろ} ④：高松 ⑤：那覇^{なは} ⑥：松本

※① 冬に降水量（雪）が多いので、日本海側の気候の金沢（石川県）。

② 夏は南東の季節風、梅雨の影響で降水量が多く、冬は晴れの日が多いので太平洋側の気候の東京。

③ 冬は低温で、夏は梅雨がなく、少雨なので、冷帯（亜寒帯）の北海道の気候の札幌。

④ ②との判断に迷うが、全体的に少雨なので、晴れの日が多い瀬戸内の気候の高松（香川県）。

⑤ 高温多雨なので、南西諸島の気候である亜熱帯の那覇（沖縄県）。

⑥ 年間を通して低温で少雨なので、内陸（中央高地）の気候の松本（長野県）。

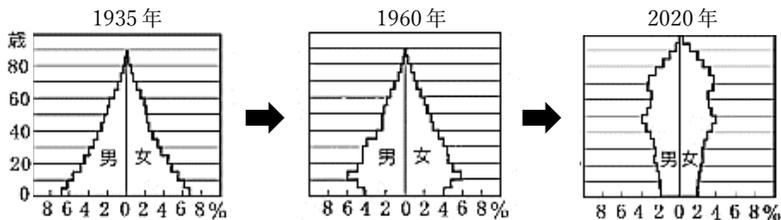
第 22 回テスト

(1) イ (2) エ (3) つぼ型 (4) 少子高齢化 (5) 太平洋ベルト

(6) 加工貿易^{かこう貿易} (7) 産業の空洞化^{くうどうか}

※ (2) 食料自給率は、国内で消費される農産物のうち、国内で生産される割合を示したもの。

(3) 人口ピラミッドは、年齢別の人口構成を表したグラフ。日本の人口ピラミッドは下図のように変化してきた。



(5) 日本の主な工業地帯は臨海部で発達 → 船による海外からの鉄鉱石などの輸入や製品の輸出に便利だから。

第 23 回テスト

(1) 火力発電 (2) ①：カナダ ②：フランス ③：アメリカ (3) オーストラリア

(4) 再生可能エネルギー (5) 持続可能な社会 (6) ウ (7) イ, ウ

※ (1) 火力発電所は燃料が輸入しやすく、電力需要が多い大都市付近の臨海部に建設されている。

(2) ①は水力発電の割合が大きいのでカナダ。また、ブラジルも水力発電の割合が大きい。

②は原子力発電の割合が大きいのでフランス。

③は総発電量が多いのでアメリカ。また、中国も総発電量が多い。

ドイツ・イギリス・スペインなどは再生可能エネルギーの発電割合が他国と比べると大きい。

(3) 日本は資源に乏しく、鉄鉱石・石炭はオーストラリア、石油はサウジアラビアなどからの輸入に頼っている。

(6) 国内の貨物輸送は、高速道路が全国に整備されたことによって、自動車（トラック）の割合が最も高くなった。

(7) 第一次産業は農業、林業、漁業など、第二次産業は製造業、建設業など、第三次産業は商業、サービス業など。

ア, オ, カは第三次産業, エは第二次産業である。

第 24 回テスト

- (1) カルデラ (2) シラス台地 (3) 地熱発電 (4) 促成栽培
(5) A:エ B:ア (6) 北九州工業地帯

- ※ (2) シラス台地は、水もちが悪く稲作に向かないため、畑作(さつまいもや茶の栽培)や畜産が盛んである。
(3) 火山の多い九州地方は、地熱発電所のほかに温泉も豊富にあり、日本の温泉の源泉数の約4割を占める。
(6) 北九州工業地帯では戦後、公害の被害が深刻だったことから、リサイクルなどを進めて持続可能な都市づくりを目指した。現在、北九州市はエコタウンに選ばれ、リサイクル工場や研究施設が集まっている。

第 25 回テスト

- (1) ①:季節風 ②:B ③:A ④:少ない (2) かき
(3) ①:島根県 ②:愛媛県 ③:香川県 (4) 過疎化 (5) 本州四国連絡橋
(6) 石油化学コンビナート

- ※ (1) 中国・四国地方のうち、四国山地の南側を南四国、中国山地の北側を山陰、瀬戸内海に面した地域を瀬戸内という。また、夏も冬も降水量の少ない瀬戸内では、古くから農業のかんがい用にため池がつけられてきた。
(2) 愛媛県ではまだいの養殖も盛ん。 (3) 高知県では、なす、ピーマン、きゅうりの促成栽培が盛ん。
(5) 都市間が交通網で結ばれた結果、大都市に人が吸い寄せられて移動する現象をストロー現象という。
(6) 瀬戸内工業地域の石油化学コンビナートや製鉄所は、原料の輸入や製品の輸送に便利な臨海部で発展した。

第 26 回テスト

- (1) 紀伊山地 (2) 阪神工業地帯 (3) 梅, みかん (順不同)
(4) ①:兵庫県 ②:滋賀県 ③:三重県 (5) ニュータウン
(6) 歴史的な街並みや景観を守るため。

- ※ (1) 紀伊山地は降水量が多いため、樹木の生長が早く、すぎやひのきを生産する林業が盛ん。
(2) 東大阪市や八尾市では規模の小さな工場(中小工場)が集中している。
(4) ③ 三重県の志摩半島はリアス海岸が発達しており、波の静かな湾での真珠の養殖が盛んである。
(5) 神戸市では山地をけずってニュータウンを造り、けずった土で沿岸の埋め立て、人工島などをつくった。
(6) 国宝・重要文化財の指定件数が1位である都道府県は京都府で、2位は奈良県。

第 27 回テスト

- (1) 木曾山脈 (2) 中京工業地帯
(3) 他の都道府県の出荷が少ない時期に多く出荷している。 (4) 新潟県:米, 静岡県:茶
(5) ①:石川県 ②:愛知県 ③:山梨県 (6) 施設園芸農業

- ※ (2) 自動車産業が盛んで、輸送用機械工業の出荷額が占める割合が非常に高い。
(3) 夏の冷涼な気候を利用して収穫・出荷を遅らせる「抑制栽培」を行うことで、他の産地の出荷量が少ない時期に出荷できるため、高い価格で販売できる。
(5) ① 北陸地方では伝統産業のほかに、福井県鯖江市の眼鏡フレームなどのように、雪が多く農作業ができない冬の間の副業として発達した「地場産業」も盛んである。

第 28 回テスト

- (1) 関東ローマ (2) ヒートアイランド現象 (3) ア
 (4) 近隣の県から都心部へ通勤・通学する人が多いから。 (5) 政令指定都市 (6) A:イ B:ウ
 ※ (4) 都心部は地価が非常に高いため、郊外や近隣県に住んで都心へ通勤・通学している人が多い。そのため、都心部では昼間人口が多く、郊外や近隣県では夜間人口の方が多くなっている。
 (6) 成田空港は国際線が中心で、軽量で高価な貨物の輸送が盛んである。
 東京国際空港は別名羽田空港、国内線が中心であるが、アジアを中心に国際線も就航している。
 名古屋港は中京工業地帯が近くにあるので、輸出額が大きい。

第 29 回テスト

- (1) A:京^{けい}浜^{ひん}工業地帯 B:京^{けい}葉^{よう}工業地域 C:北関東工業地域 (2) からっ風
 (3) 近郊農業 (4) 抑制^{よくせい}栽培 (5) ①:茨城県 ②:群馬県 ③:栃木県
 ※ (3) 大消費地である東京に近く、輸送にかかる時間と費用をおさえることができるため、関東地方では野菜の生産が盛んである。

第 30 回テスト

- (1) 白^{しろ}神^{かみ}山地 (2) リアス海岸 (3) 潮^{しほ}目^め (潮^{しほ}境^{かい}) (4) わかめ (5) やませ
 (6) ①:宮城県 ②:岩手県 ③:青森県 (7) さくらんぼ
 ※ (2) リアス海岸は、海底で地震がおこると津波の被害が大きくなりやすい。
 (4) この他にもリアス海岸の湾内では、こんぶ や かき の養殖も盛んである。
 (5) 冷害…夏に気温が低い日が続き、稲などの農作物の収穫量が減少すること。
 (6) 東北地方の代表的な祭りとして、青森のねぶた祭、秋田の竿^{かんとう}灯^{とう}まつり は覚えておくとよい。
 (7) 山形県では洋なしの生産量も多い。

第 31 回テスト

- (1) 知^し床^{とこ} (2) 濃^{のう}霧^む (3) ロードヒーティング (4) B:根^{こん}釧^{せん}台地 C:十^と勝^{かつ}平野
 D:石^{いし}狩^{かり}平野 (5) 酪^{らく}農^{のう} (6) エ (7) 栽^{さい}培^{ばい}漁業 (8) アイヌの人々
 ※ (1) 知床やヨーロッパでは、自然との関係を大切にしつつ、観光資源を体験したり、ガイドからの説明から学んだりする、エコツーリズムが広がっている。
 (4) C:十勝平野では、同じ土地で年や時期ごとに異なる作物を順番に作る「輪^{りん}作^{さく}」を取り入れている。
 D:作物を育てるのに適した土をほかの場所から運びこむ「客^{きやく}土^ど」を行い、米の産地に生まれ変わった。
 また、北海道では、広大な土地をいかし、大型機械を使った大規模な農業が行われている。
 (5) 北海道の乳牛の頭数は全国の約5割を占めているが、東京などの大消費地から遠いため、飲用としてはなく、バターやチーズに加工されて全国に出荷されている。
 (6) さつまいもの生産は鹿児島県などで盛んである。

第1回テスト

- (1) ①：象形 (2)：メソポタミア (3)：インダス (4)：甲骨 (5) 殷 (6) 孔子
(5) (秦の) 始皇帝 (6) シルクロード (絹の道) (7) アテネ (8) シャカ (釈迦)

※ (2) A はエジプト文明, B はメソポタミア文明, D は中国文明が栄えた場所。

(3) 中国の主な王朝は、

殷→周→秦→漢→三国(魏・呉・蜀)→隋→唐→宋→元→明→清→中華民国→中華人民共和国という順番。

(5) 秦の始皇帝は、北方の遊牧民の侵入を防ぐために万里の長城を築いた。

(7) 地中海各地にギリシャ人が造った都市国家をまとめてポリスという。アテネはポリスの中の1つ。

第2回テスト

- (1) B (2) たて穴住居 (3) ①：貝塚 ②：吉野ヶ里遺跡 ③：高床倉庫
(4) 漢(後漢) (5) 卑弥呼 (6) 前方後円墳 (7) 大和政権(ヤマト王権)

※ (1) A は縄文時代の代表的な青森県の三内丸山遺跡。 C は弥生時代の代表的な静岡県登呂遺跡。

石を打ち砕いて作った打製石器を使い、狩りや採集で食料を得ていた時代を旧石器時代という。

1946年、群馬県の岩宿遺跡から打製石器が発見され、日本にも旧石器時代があったことが明らかになった。

(3) 縄文時代の土偶は魔よけや豊かな食物をいのるために使われていた。

③の高床倉庫は、収穫した米をねずみや湿気から守るために床を地面から離して建てた。

(4) 後漢の皇帝から授かった金印には「漢委奴国王」と書かれていた。

(5) 魏の歴史書魏志倭人伝には、邪馬台国の女王卑弥呼が倭の30余りの小国を従えていたことが記されている。

(6) 古墳のまわりには右図のような埴輪が並べられた。 (7) 大和政権の王は「大王」と呼ばれた。



第3回テスト

- (1) 渡来人 (2) A：冠位十二階 B：十七条の憲法 (3) 遣隋使 (4) 法隆寺
(5) 飛鳥文化 (6) 中大兄皇子(後の天智天皇), 中臣鎌足(後の藤原鎌足)(順不同) (7) 百済

※ (3) 聖徳太子は、小野妹子を遣隋使として派遣した。

(6) 大化の改新の際に中大兄皇子らにたおされた一族を蘇我氏という。

豪族が支配していた土地と人民を、公地・公民として国家が直接支配するようになった。

(7) 663年、日本は百済の復興を助けるために援軍を送ったが、唐と新羅の連合軍に敗れた。

第4回テスト

- (1) 壬申の乱 (2) 班田収授法 (3) 大宝律令 (4) 和同開珎 (5) 平城京
(6) ア：3 イ：調 (7) 防人 (8) 墾田永年私財法 (9) 荘園

※ (2) 班田収授法をおこなうために、一定期間ごとにつくられた台帳が戸籍。

(6) 庸, 調, 雑徭, 兵役などは男子のみに課せられていた負担なので、戸籍に女といつわって、この負担を逃れようとするものが多くあらわれた。

(8) 人口の増加により口分田が不足したので墾田永年私財法を出したが、これにより荘園という私有地をもつ貴族や寺社がでてきて、公地・公民の原則がくずれた。

第5回テスト

- (1) 遣唐使 (2) 正倉院 (3) 仏教の力で国を守るため。 (4) 天平文化
 (5) 鑑真 (6) 古事記, 日本書紀 (順不同) (7) 風土記 (8) 万葉集

第6回テスト

- (1) ウ (2) A: 天台 B: 真言 C: 菅原道真
 (3) 自分の娘を天皇のきさきにし、その子を次の天皇に立てることで勢力をのばした。
 (4) 摂関政治 (5) 院政 (6) 平清盛 (7) 宋

- ※ (1) アは飛鳥時代に壬申の乱に勝利して即位した天皇, イは奈良時代の天平文化が最も栄えたころの天皇
 (2) C: 菅原道真は唐のおとろえと往復の航海の危険を理由に遣唐使の停止を進言した。
 (4) 藤原氏の摂関政治が全盛期であった11世紀は, 藤原道長とその子の藤原頼通の時代であったともいえる。
 (7) この貿易を日宋貿易といい, 平清盛は兵庫の港を整えて宋との貿易を盛んにした。

第7回テスト

- (1) 国風文化 (2) I: 古今和歌集 II: 枕草子 III: 源氏物語 (3) 寝殿造
 (4) ア (5) イ (6) ア→ウ→イ→エ

- ※ (2) 平安時代, 漢字を变形して仮名文字がつくれ, 細やかな感情をそのまま書き表すことができるようになった。
 (4) イは室町時代に建てられた金閣, ウは奈良時代に建てられた正倉院
 平安時代中頃, 死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰が広まり, 平等院鳳凰堂が建てられた。
 (5) アは奈良時代, ウは飛鳥時代
 (6) アは894年, イは1086年, ウは1016年, エは1167年

第8回テスト

- (1) ア: 守護 イ: 地頭 (2) I: 御恩 II: 奉公 (3) 執権 (4) 承久の乱
 (5) 六波羅探題 (6) 御成敗式目(貞永式目) (7) フビライ・ハン (8) (永仁の)徳政令

- ※ (4) 承久の乱の後, 幕府の支配力は東日本だけでなく西日本にまで及ぶようになった。
 (7) このときの執権は, 北条時宗。
 (8) 元寇の後, 幕府から恩賞の土地がもらえなかったことや分割相続によって領地が小さくなったことなどに
 より, 御家人の生活が苦しくなったため, 幕府は徳政令を出して御家人の借金を帳消しにした。

第9回テスト

- (1) ア: 新古今和歌集 イ: 平家物語 ウ: 徒然草 (2) 像: 金剛力士像 作者: 運慶
 (3) ①: 法然 ②: 浄土真 ③: 日蓮 ④: 栄西 (4) イ→ウ→ア→エ (5) 後醍醐天皇

- ※ (1) 鴨長明が社会のむなしさを説いた随筆「方丈記」も有名である。
 (2) 金剛力士像は東大寺南大門の左右に収められている。
 (3) これらの新しい仏教は, わかりやすく実行しやすかったため, 鎌倉時代の民衆に広く伝わった。
 (4) アは1232年, イは1221年, ウはイの後, エは1297年

第10回テスト

- (1) 建武の新政 (2) 足利尊氏 (3) 管領 (4) 守護大名 (5) 足利義満
(6) 勘合 (7) 正式な貿易船と倭寇を区別するため。 (8) 琉球王国

- ※ (1) 建武の新政は貴族を重視する政策をとっていたために武士の不満が高まり、2年ほどで失敗した。
(4) 南朝と北朝の約60年続いた動乱の時代を南北朝時代という。
(6) この貿易を勘合貿易(日明貿易)という。日本の輸入品:銅銭や生糸 輸出品:銅や刀
(7) 倭寇…東シナ海で密貿易や海賊行為を行っていた人々のこと。
(8) 琉球王国は日本・中国・朝鮮と東南アジア諸国から輸入した品物を他国へ輸出する中継貿易を行っていた。

第11回テスト

- (1) エ (2) 二毛作 (3) 定期市 (4) 惣 (5) 借金の帳消し。 (6) イ
(7) 書院造 (8) 東山文化

- ※ (1) 室町時代の商人や手工業者などの同業者ごとの団体を「座」といい、営業を独占する権利を認められた。
(8) 足利義満のころの文化を北山文化という。

第12回テスト

- (1) 応仁の乱 (2) 下剋上 (3) 戦国 (4) 分国法 (5) ウ (6) 南蛮貿易
(7) ウ→エ→ア→イ

- ※ (5) 鉄砲はポルトガル人を乗せた中国船が、鹿児島県の種子島に流れ着いたときに日本に伝えられた。
(6) このころ、ポルトガル人やスペイン人は南蛮人と呼ばれていた。
南蛮貿易での日本輸入品:生糸、鉄砲など 輸出品:銀
(7) アは1428年、イは1467年、ウは1338年、エは1392年

第13回テスト

- (1) 十字軍 (2) ルネサンス(文芸復興) (3) 宗教改革 (4) プロテスタント
(5) イエズス会 (6) キリスト教を布教するため。 (7) コロンブス (8) バスコ・ダ・ガマ

- ※ (1) 十字軍はローマ教皇の呼びかけで結成され、何度も派遣されたが、エルサレムの奪回には失敗した。
(3) 免罪符の販売をはじめとするカトリック教会の腐敗を批判し正そうとして宗教改革を始めた。
(6) 宗教改革に対抗して、カトリック教会側の勢力を回復するために海外布教に乗り出した。
(7), (8) アジアの香辛料を直接手に入れるため、ヨーロッパ人はアジアに進出した。

第14回テスト

- (1) 長篠の戦い (2) 楽市・楽座 (3) 豊臣秀吉 (4) 太閤検地 (5) 兵農分離
(6) ア (7) 狩野永徳 (8) 千利休

- ※ (2) 織田信長は商工業の発展をはかるために、関所を廃止して物資の流通をさかんにした。
(3) 豊臣秀吉は、信長の後継者争いに勝利し、壮大な大阪城を築いて本拠地にした。
(6) 桃山文化を代表し、世界遺産にも登録されている姫路城もこのころ兵庫県に建てられた。

第15回テスト

- (1) 徳川家康 (2) 外様大名 (3) 武家諸法度 (4) ア (5) 徳川家光 (6) 五人組

- ※ (1) 徳川家康は1600年の関ヶ原の戦いで石田三成を中心とする豊臣方を破り、実権をにぎった。
 (2) 譜代大名は関ヶ原の戦い以前から徳川氏に従っていた大名。親藩は徳川氏一族の大名。
 (4) 参勤交代は、大名が1年おきに領地と江戸を往復することを義務づけた制度。

第16回テスト

- (1) 朱印船貿易 (2) 絵踏 (3) 島原・天草一揆 (4) 出島 (5) 清, オランダ
 (6) 千歯こき, 備中ぐわ (7) 朝鮮通信使 (8) ア

- ※ (1) この貿易にともない、多くの日本人が東南アジアの各地に移住し、日本人が住む町（日本町）ができた。

渡航許可書：朱印状 朱印船貿易での日本の輸出品：生糸 輸出品：銀

- (5) 清からは上質な生糸や絹織物が輸入でき、オランダはキリスト教の布教を行わなかったので貿易を続けた。
 (6) 農具の発明や改良によって生産性が上がった。また、新田開発などにより耕作地面積が増えた。
 (7) 1609年、対馬藩の努力によって朝鮮との国交が回復した。



第17回テスト

- (1) 徳川綱吉 (2) 元禄文化 (3) 松尾芭蕉 (4) 近松門左衛門 (5) 浮世絵
 (6) 蔵屋敷 (7) 五街道 (8) エ→ア→ウ→イ

- ※ (1) 徳川綱吉は、儒学の中でも、主従関係や上下関係を重んじる「朱子学」を重視した。
 (6) このころ、商業の中心地として栄えた大阪は「天下の台所」と呼ばれていた。
 (7) 五街道は、東海道、中山道、日光道中、奥州道中、甲州道中
 (8) アは1635年、イは1641年、ウは1637年、エは1612年

第18回テスト

- (1) ウ (2) 百姓一揆 (3) 打ちこわし (4) 田沼意次 (5) 株仲間 (6) ア

- ※ (1) エを上げ米の制という。ウは徳川綱吉が落とした貨幣の質を新井白石がもとに戻したこと(正徳の治)である。
 (2) 百姓一揆と打ちこわしは、ききんのときに多く発生した。 (6) ウは田沼意次による政治。

第19回テスト

- (1) 異国船打払令 (2) 工場制手工業(マニュファクチュア) (3) 大塩平八郎 (4) 水野忠邦
 (5) イ (6) 清が(アヘン)戦争でイギリスに敗れたのを知ったため。

- ※ (1) イギリスの軍艦が長崎の港に侵入するフェートン号事件やロシア・アメリカの船が日本海岸に接近するようになったのをきっかけに、異国船打払令が出された。

- (3) 大阪の元役人である大塩平八郎が人々を救おうと起こした反乱を、大塩平八郎の乱(大塩の乱)という。
 (5) 水野忠邦の天保の改革では、異国船打払令をやめることも行った。アは松平定信の寛政の改革である。
 (6) 強い国だと思っていた隣国の清がイギリスに敗れ、不平等条約を結んだことで、欧米諸国の強さを知った。
 そこで、外国を刺激して戦争をしかけられるのを防ぐため、異国船打払令をやめた。

第20回テスト

- (1) 国学 (2) 杉田玄白 (3) 伊能忠敬 (4) 化政文化 (5) 葛飾北斎
 (6) 十返舎一九 (7) 寺子屋 (8) ウ→イ→エ→ア

※ (6) 歌川広重(安藤広重)は、「東海道五十三次」などのすぐれた風景画を残した人物。

(8) アは1841～43年、イは1772～86年、ウは1716～45年、エは1787～93年

第21回テスト

- (1) クロムウェル (2) 名誉革命 (3) 権利章典(権利の章典) (4) イギリス
 (5) ワシントン (6) A: モンテスキュー B: ルソー (7) 人権宣言 (8) ナポレオン

第22回テスト

- (1) 産業革命 (2) インド (3) アヘン戦争 (4) 南京条約 (5) 太平天国の乱
 (6) インド大反乱 (7) 北部 (8) リンカン

※ (1) インドの良質な綿織物に対抗するために、綿織物産業から産業革命がはじまった。

(4) この条約でイギリスは香港を得た。さらに、イギリスに領事裁判権を認め、清に関税自主権はなくなった。

第23回テスト

- (1) ペリー (2) 日米和親条約 (3) A: 領事裁判権 I: 関税自主権
 (4) 井伊直弼 (5) 尊王攘夷運動 (6) 桜田門外の変 (7) ア: 横浜 ①: 生糸

※ (2) この条約で開港したのは、下田(静岡県)と函館(北海道)の2港。

(3) 領事裁判権…日本に滞在中のアメリカ人の犯罪を日本の法律ではなく、アメリカの法律で裁判する権利。

関税自主権…日本側の輸出入品の関税率(税金の割合)を自主的に決める権利。

(7) 当時「世界の工場」といわれていたイギリスが最大の貿易相手国だった。

第24回テスト

- (1) 薩長同盟 (2) 坂本龍馬 (3) 大政奉還 (4) 徳川慶喜 (5) 王政復古の号令
 (6) 戊辰戦争 (7) A→イ→ウ→エ

※ (6) 徳川慶喜は新しい政権の中で主導権を握るために大政奉還をしたが、倒幕側(西郷隆盛など)が王政復古の号令を出し、慶喜に領地の返上などを命じ、天皇中心の政治にもどす宣言をしたことから戊辰戦争へと発展。

(7) Aは1858年、イは1866年、ウは1867年、エはウのあと(1867年)。

第25回テスト

- (1) 五箇条の御誓文 (2) A: 版籍奉還 B: 廃藩置県 (3) エ (4) 徴兵令
 (5) A: 地券 I: 3 U: 現金 (6) 富国強兵 (7) 富岡製糸場 (8) 文明開化

※ (2) 新政府は版籍奉還を行ったが、藩の政治は元の藩主が担当したので改革の効果がなかった。そのため、

廃藩置県を行い、府知事・県令(後の県知事)が新政府から派遣され、中央集権国家のしくみができた。

(5) これに反対する人が多かったので、1877年に税率は2.5%に下げられた。

(6) 学制、徴兵令、地租改正の3つは、富国強兵を具体化するために行った明治の三大改革である。

(7) 富岡製糸場のように、欧米から進んだ技術や機械を入れて、近代的な産業を育てる政策を殖産興業という。

第26回テスト

- (1) 福沢諭吉 (2) 岩倉使節団 (3) 津田梅子 (4) ロシア (5) 屯田兵
(6) 征韓論 (7) 日朝修好条規

- ※ (2) 写真Bは左から木戸孝允、山口高芳、岩倉具視、伊藤博文、大久保利通である。
(4) 日本が千島列島をすべて領有する代わりに、ロシアに樺太の領有を認めた。

第27回テスト

- (1) 板垣退助 (2) 自由民権運動 (3) 西郷隆盛 (4) X:伊藤博文 Y:ドイツ(プロイセン)
(5) 天皇 (6) ㉔:25 ㉕:男子 (7) ウ→イ→ア→エ

- ※ (1) 国会の開設が決まると、板垣退助を党首とする自由党と、大隈重信を党首とする立憲改進黨が結成された。
(5) 大日本帝国憲法では、国を統治するのは天皇で、帝国議会・内閣・裁判所は天皇の統治を助けるものとされた。
(6) 帝国議会は、皇族・天皇が指名した議員からなる貴族院と国民が選挙した議員からなる衆議院の二院制がとられた。
(7) アは1889年、イは1882年、ウは1874年、エは1890年

第28回テスト

- (1) ア (2) X:朝鮮 Y:ロシア (3) 下関条約 (4) 三国干渉
(5) ポーツマス条約 (6) イ

- ※ (1) ノルマントン号事件をきっかけに、不平等条約の改正を求める国民の声が高まった。
(2) 甲午農民戦争に対して、朝鮮政府から出兵を求められた清と、清に対抗して出兵した日本との戦いが日清戦争
(3) この条約で、清は朝鮮の独立を認めた。
(5) 日露戦争の前の1902年、ロシアに対抗するために日本はイギリスと日英同盟を結んだ。
(6) 日露戦争は日清戦争の数倍の被害を出したが、賠償金を得られなかったため、民衆は日本の得る利益が少ないとして、暴動を起こした。

第29回テスト

- (1) 八幡製鉄所 (2) 与謝野晶子 (3) 夏目漱石 (4) 韓国併合 (5) 孫文
(6) 革命:辛亥革命 国名:中華民国 (7) エ→ウ→ア→イ

- ※ (7) アは1902年、イは1904年、ウは1895年(下関条約締結後)、エは1894年

第30回テスト

- (1) A:三国協商 B:三国同盟 (2) 日英同盟 (3) 二十一か条の要求 (4) レーニン
(5) シベリア出兵 (6) ベルサイユ条約 (7) ア (8) ワシントン会議

- ※ (1) 第一次世界大戦はオーストリアの皇太子夫妻が、サラエボで暗殺されたことから始まった。

4年にわたる戦争で、新兵器(戦車、飛行機、毒ガスなど)により、多くの死傷者が出た。

- (7) アメリカのウィルソン大統領が提案した。

- (8) ベルサイユ条約で日本は山東省のドイツ権益を引き継いだ。ワシントン会議の結果、中国に返還した。

第31回テスト

- (1) 米騒動 (2) 原敬 (3) 三・一独立運動 (4) 五・四運動 (5) ガンディー
 (6) イ (7) 治安維持法 (8) 芥川龍之介

※ (6) 普通選挙法によって、納税額による制限がなくなり、有権者数が約4倍に増えた。

第32回テスト

- (1) スターリン (2) ニューディール政策(新規まき直し政策) (3) ブロック経済
 (4) ファシズム (5) 満州事変 (6) 五・一五事件 (7) 国際連盟を脱退した。

※ (2) 当時、日本の生糸の最大輸出国であったアメリカで世界恐慌が起これ、生糸の需要が減り、日本の生糸の輸出量は激減した。

(6) この事件により、8年間続いた政党内閣の時代が終わり、これ以降、軍人が首相になることが多くなった。

第33回テスト

- (1) 日中戦争 (2) 国家総動員法 (3) ポーランド (4) 日独伊三国同盟
 (5) 太平洋戦争 (6) ポツダム宣言 (7) エ→イ→ア→ウ (8) イ→ウ→エ→ア

※ (6) 1945年8月6日に広島、8月9日に長崎に原子爆弾が落とされた。

(7) アは1937年、イは1931年、ウは1941年、エは1929年

(8) アは1938年、イは1918年、ウは1925年、エは1933年

第34回テスト

- (1) マッカーサー (2) A: 財閥解体 B: 農地改革 (3) ウ (4) 教育基本法
 (5) 国民主権、平和主義、基本的人権の尊重(順不同) (6) 冷戦(冷たい戦争)
 (7) X: 警察予備 Y: 自衛

※ (2) 財閥解体により、戦前に強い力を持っていた財閥の機能を失わせた。

農地改革により、経済的にも社会的にも農村の平等化が進んだ。

(3) 女性にも選挙権があたえられたことで、有権者の割合が一気に増加した。

(5) 新憲法の制定にともない、天皇は国と国民の象徴になった。

(6) アメリカを中心とする資本主義陣営と、ソ連を中心とする共産主義陣営との対立状態のこと。

(7) 朝鮮戦争が起これると、アメリカは日本に大量の物資を発注し、日本経済の復興が早まった。(特需景気)

第35回テスト

- (1) サンフランシスコ平和条約 (2) 日ソ共同宣言 (3) 非核三原則 (4) 日中共同声明
 (5) ウ (6) 石油危機(オイル・ショック) (7) ベルリンの壁 (8) イ→ウ→ア→エ

※ (1) 当時の首相は、吉田茂。 (3) 沖縄が日本に復帰したときの首相は、佐藤栄作。

(5) 高度経済成長により国民の所得は増え、暮らしは便利になったが、大気汚染や水質汚濁などの公害問題も深刻化した。ウは1925年の大正時代。

(8) アは1972年、イは1951年、ウは1956年、エは1980年代に発生した不健全な好景気で1991年に崩壊した